



## 2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ

コード番号 4847 URL <https://www.iwi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 邦光

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 藤澤 由裕 TEL (03)6222-7015

四半期報告書提出予定日 2021年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年6月期第3四半期の業績 (2020年7月1日~2021年3月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	8,067	3.4	678	15.9	696	15.9	470	18.1
2020年6月期第3四半期	7,805	1.5	585	△13.3	601	△12.7	398	△14.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	17.90	—
2020年6月期第3四半期	15.17	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	10,673	7,217	67.6
2020年6月期	10,552	6,983	66.2

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 7,217百万円 2020年6月期 6,983百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年6月期	—	0.00	—		
2021年6月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2021年6月期の業績予想 (2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	11,000	0.7	1,150	11.0	1,190	10.7	820	7.6	31.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	26,340,000株	2020年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	47,651株	2020年6月期	41,651株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	26,295,363株	2020年6月期3Q	26,264,403株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の国内経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状態にあり、経済全体としては持ち直している、といわれながら、そのペースは緩やかで、企業や家計の成長期待に対しては不確実性が残っています。

個人消費は対面型のサービスの消費は縮小したままで、2021年1月以降、大手クレジットカード会社のカードショッピングの取扱高も未だ前年同期実績を下回っています。

今のところ当社の業績は大きな悪影響を受けていませんが、今後、当社の主要な事業領域であるクレジットカード業界の業況が、各社の設備投資の計画に影響を及ぼすことになれば、当社の当期業績予想と中期計画に影響が及ぶ可能性もあります。

カード決済に不可欠な機能を提供するシステムの開発や運用を担う当社は、社会的な使命を正しく認識し、業務を継続するために必要な設備や体制を整備しつつ業務を推進しています。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、社員等の健康状態の把握を行い、テレワークと時差勤務を実施するほか、内外の出張を制限する等の対策を講じてきました。

当社は、主にクレジットカード会社を中心とした顧客に対して、クレジットカードの決済処理を完遂するために必要なネットワーク接続やカードの使用認証等の機能をもつFEP(Front End Processing)システムの開発業務を行っています。

例えば、FEPシステムの新規開発に際しては、システムの中核を構成するNET+1(ネットプラスワン)の販売による売上(当社製品)と、技術者がそのパッケージをカスタマイズして顧客の機能要件に合わせる開発業務による売上(システム開発)、開発したソフトウェアを搭載するサーバーの販売による売上(ハードウェア)、ソフトウェアとハードウェアで構成されたシステムの保守業務による売上(保守)のそれぞれが計上されます。

また、企業組織の内部情報漏えいを防ぐ当社製品と、サイバーセキュリティ対策のための他社製品の販売業務を行っています。

当社の当第3四半期は、売上高8,067百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益678百万円(前年同期比15.9%増)、経常利益696百万円(前年同期比15.9%増)、四半期純利益470百万円(前年同期比18.1%増)を計上しました。売上高、営業利益ともに、前期実績を上回りました。

金融業界向けの事業について、大手カード会社やシステムベンダ向けにFEPシステムの更新や機能の強化、不正検知システムの構築のためのシステム開発やハードウェアの販売を手掛けました。

当社が手掛けるシステム開発案件に利用されるハードウェアの販売と、特定の機種種のサーバーの置換えの案件によって、ハードウェアの販売は前期実績を上回りました。新規顧客向けの開発案件に利用される他社製品の販売も前期実績を上回りました。クラウドサービス事業も期初計画どおり前期実績を上回っています。システム開発業務の売上高は前期実績を下回りましたが、ハードウェア等の製品販売の増加が補いました。

一方で、情報セキュリティ事業については他社製品の販売が奮わず、前期実績を下回りました。

(参考) カテゴリ別売上高

(百万円)

カテゴリ	前第3四半期	当第3四半期	ストック/フロー
システム開発	4,382	3,710	フロー
保守	926	992	ストック
当社製品	207	267	フロー
クラウドサービス	609	702	ストック
ハードウェア	869	1,339	フロー
他社製品	148	431	フロー
セキュリティ対策製品	661	622	フロー
計	7,805	8,067	

(注) 各カテゴリについて、定常的に一定規模の売上を計上できる契約形態のものをストックとして表示しています。

契約の規模や成立時期が定常的ではないカテゴリをフローとして表示しています。

営業利益は、前期実績を上回りました。

金融業界向けの事業について、売上高は7,444百万円（前年同期比4.2%増）と、前期実績を上回りました。ハードウェアと他社製品の販売実績は前期実績を上回りましたが、システム開発の実績は下回りました。その結果、営業利益は740百万円（前年同期比1.1%増）と、ほぼ横ばいでした。

情報セキュリティ事業については、対前期減収ながら、経費の減少によって損益は前期より改善しました。

クラウドサービス事業の受注残高は、新規の受注が少なかったため減少しました。また、情報セキュリティ事業の受注残高も前年同期実績を下回っています。

しかし、金融業界向け事業のハードウェア販売と他社製品販売及びシステム開発の受注残高は前年同期実績を上回っており、その結果、全体の受注残高も前期実績を超えています。期末の業績予想に変更はありません。

当第4四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響の下、顧客の都合で売上計上時期が変わる案件が発生する可能性があります。通期の業績予想に対し大きな影響はない見通しです。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ121百万円増加し、10,673百万円となりました。うち流動資産は、前事業年度末に比べ292百万円増加し、6,673百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金381百万円の減少がありましたが、現金及び預金533百万円の増加並びにたな卸資産139百万円の増加があったためです。固定資産は、前事業年度末に比べ170百万円減少し、3,999百万円となりました。これは主に、投資有価証券39百万円の増加がありましたが、ソフトウェア等無形固定資産147百万円の減少があったためです。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ112百万円減少し、3,455百万円となりました。これは主に、未払法人税等69百万円の増加及び賞与引当金178百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金57百万円の減少並びに前受金223百万円が減少したためです。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ234百万円増加し、7,217百万円となりました。これは、利益剰余金が207百万円の増加及びその他有価証券評価差額金26百万円の増加があったためです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月5日付「2020年6月期 決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,641,864	4,175,031
受取手形及び売掛金	1,720,318	1,338,380
たな卸資産	413,482	553,004
その他	605,574	607,105
流動資産合計	6,381,239	6,673,522
固定資産		
有形固定資産	537,972	524,054
無形固定資産		
ソフトウェア	1,262,416	1,177,008
その他	202,895	141,031
無形固定資産合計	1,465,312	1,318,039
投資その他の資産		
投資有価証券	1,359,193	1,398,685
その他	808,293	759,067
投資その他の資産合計	2,167,487	2,157,752
固定資産合計	4,170,771	3,999,846
資産合計	10,552,011	10,673,369
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	627,020	569,597
未払法人税等	61,971	131,408
前受金	1,381,890	1,158,179
賞与引当金	295,182	473,879
役員賞与引当金	42,682	28,735
その他	541,881	451,337
流動負債合計	2,950,627	2,813,138
固定負債		
退職給付引当金	490,430	530,024
役員退職慰労引当金	30,052	21,411
資産除去債務	87,421	87,471
その他	10,010	3,575
固定負債合計	617,914	642,482
負債合計	3,568,542	3,455,620

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	573,099	573,099
利益剰余金	5,043,372	5,251,019
自己株式	△26,712	△26,712
株主資本合計	6,433,508	6,641,156
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	549,960	576,592
評価・換算差額等合計	549,960	576,592
純資産合計	6,983,469	7,217,748
負債純資産合計	10,552,011	10,673,369

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	7,805,470	8,067,013
売上原価	5,782,816	5,911,349
売上総利益	2,022,654	2,155,664
販売費及び一般管理費	1,436,913	1,477,002
営業利益	585,740	678,661
営業外収益		
受取利息	487	514
受取配当金	20,735	20,887
受取保険金	28,028	—
その他	3,196	5,097
営業外収益合計	52,448	26,499
営業外費用		
支払利息	76	25
コミットメントフィー	3,048	3,991
支払補償費	33,679	3,613
その他	373	1,095
営業外費用合計	37,178	8,726
経常利益	601,010	696,434
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	—	4,713
特別損失合計	—	4,713
税引前四半期純利益	601,010	691,721
法人税、住民税及び事業税	191,563	234,526
法人税等調整額	11,027	△13,437
法人税等合計	202,591	221,089
四半期純利益	398,418	470,631



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

第1四半期会計期間において、当社は、従来の「金融システムソリューション事業」と「プロダクトソリューション事業」の2区分であった事業セグメントを集約し、単一のセグメントとしたため、セグメント情報の記載を省略しています。